



こうのみね じょう あと

高嶺城跡

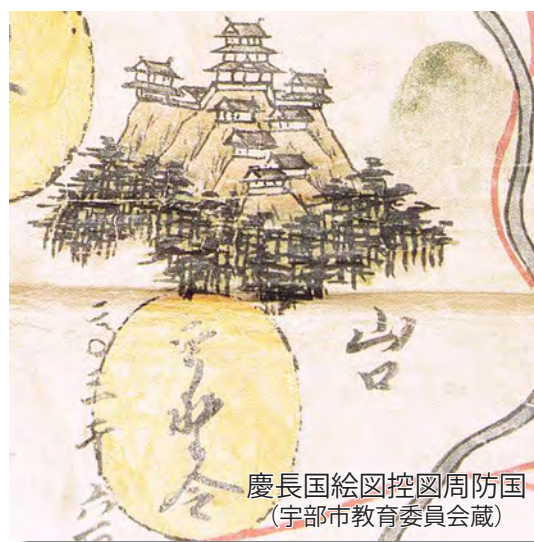
高嶺城は、大内氏最後の当主、大内義長が築いた城です。毛利軍の侵攻に備え弘治2年（1556）春から築城を始めましたが、築城はあまり進まず籠城に必要な食料にも欠いたため、翌年2月、義長は内藤隆世とともに長門国に逃れました。そして最後は長福寺（現在の功山寺（下関市））で自刃しました。

その後、弘治3年（1557）秋には毛利氏の支城として築城が始まり、冬に完成しました。城番は、市川経好、柳沢元政、佐世元嘉らが担いました。

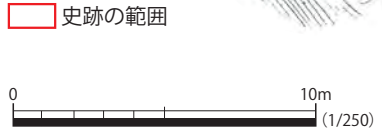
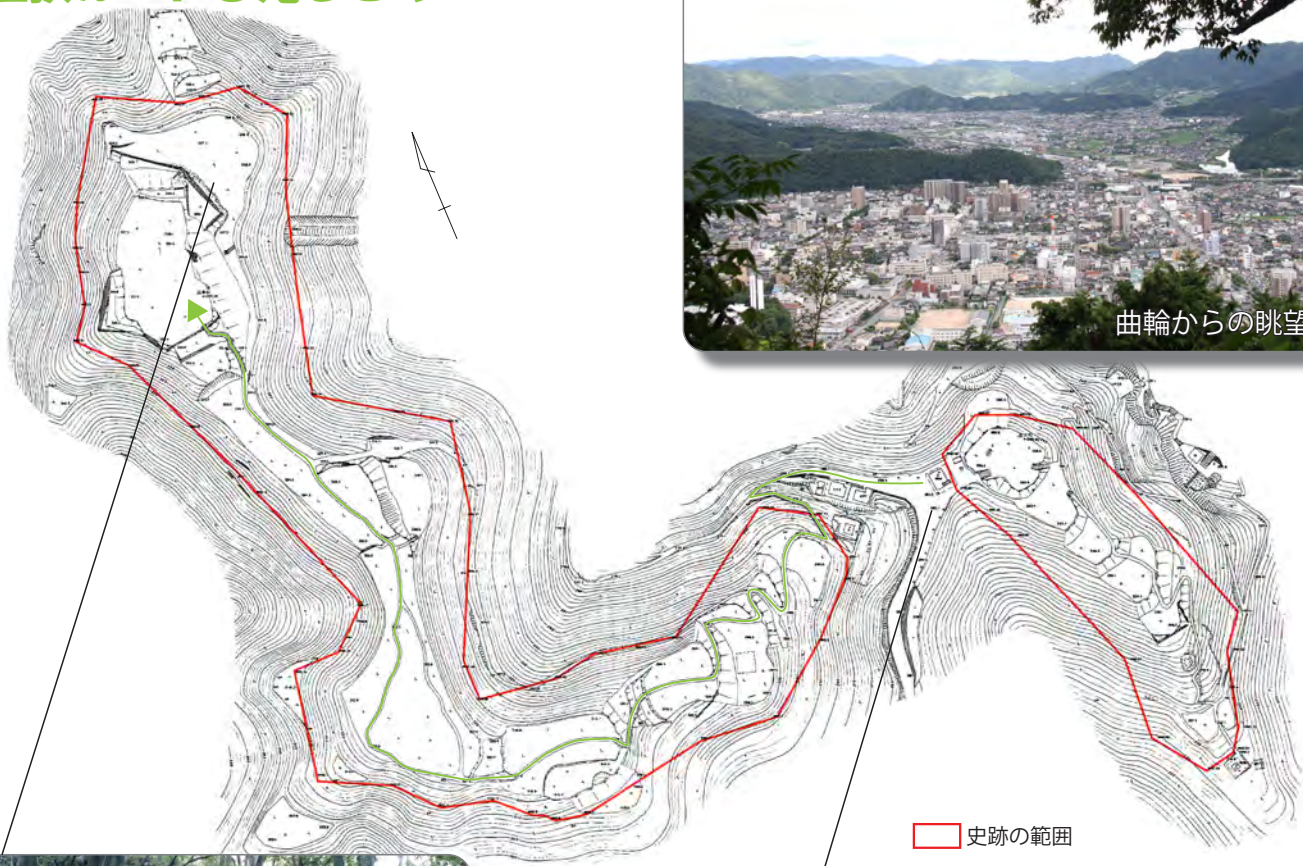
また、永禄12年（1569）の大内輝弘の乱では、輝弘が大友方の兵を率いて山口に侵攻しましたが、市川経好の妻らが高嶺城でそれを防いだと言われています。

高嶺城は最終的に、元和元年（1615）の一国一城令により破却され、城としての役割を終えました。

【データ】 時代・時期 室町時代後期～江戸時代初期
指定 昭和34年11月27日 国史跡
認定 平成29年4月6日 続日本100名城



登頂ルートと見どころ



- 所在地
山口県山口市上宇野令字高嶺
- アクセス／山頂までの所要時間
 - ・JR 山口線「山口駅」から徒歩約90分
 - ・バス 「県庁前」バス停から徒歩約70分
 - ・車 おとどいやま森林公園駐車場から徒歩約45分

【問い合わせ】山口市教育委員会文化財保護課

電話 083(920)4111
Mail bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp